

令和8年3月16日

令和8年3月役職定年の皆様

北海道小学校長会

会 長 田邊 芳明

対策部長 野中 利晃

役職定年者の動向に係るアンケート調査について（ご依頼）

暖かい春の日差しを感じる頃となりました。長年にわたり、学校教育の充実に並々ならぬ情熱を注いでこられ、3月末をもって役職定年という大きな節目を迎えられますこと、心よりお慶び申し上げます。これまでの皆様の長年にわたる教育功績に敬意を表しますとともに、各地区での教育はもとより全道教育の推進に尽力された日々の実践に対し、感謝申し上げます。

さて、北海道小学校長会では、これまでに定年退職や役職定年後の状況等をお伺いし、その後の任用や再就職、福利厚生等の充実に係る北海道教育委員会への要望、校長会からの関係機関への協力依頼などの資料として活用するために、本調査を行ってまいりました。令和7年度の調査結果の概要は次のようになっています。

- ・教諭として勤務が38.2%、再就職が30.9%、特例任用等が17.6%で、約87%が職業に就いている。
- ・特例任用の希望は16.7%（14人）で、任用は8.8%（校長4人、教頭2人）であった。
- ・任用や再就職等について「満足している」の回答が、再就職が38.1%なのに対して、教諭としての勤務が11.5%であった。
- ・校長としての任用や校長の経験を生かした任用を望む声や、給与が3割削減されることに対して改善を求める声が多い。

これらの調査結果から、北海道小学校長会としましては、役職定年後の任用についての改善を求める声を重く受け止めております。また、諸先輩方からの切実な要望が実を結び、令和8年度からは全道一円等の条件付で、北海道における校長としての特例任用が実現したところがございますが、いまだ改善の途上にあります。そのためにも、より多くの回答を得て、皆様の役職定年後の状況や課題を根拠に要望活動を進めていきたいと考えております。

しかし、令和5年度調査の回答率が82.6%、令和6年度調査の回答率が63.1%、令和7年度調査の回答率が56.1%となり、年々低下しております。そこで、回答率を高めたいと考え、例年5月に実施していた本調査を、ご在職中の3月にメールにて依頼文の送付、回答期限を4月末日と変更させていただきました。

つきましては、時節柄、何かとご多用の中恐縮ですが、調査の目的をご理解いただき、次のようにWebでの回答についてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この調査により、個人が特定されるような情報を部外に公表することはございませんので、安心してご回答いただきますようお願いいたします。

記

- 1 調査実施日 令和8年4月10日現在
- 2 回答の期限 令和8年4月30日（木）
- 3 回答の仕方 ①二次元コード又は②URLからご回答の上、送信してください。
※ 「道小ホームページ>対策部」にも、本依頼文書を掲載しています。ご参照ください。
① 二次元コード ② URL



<https://forms.gle/cM7JGia46bH3RHGN7>

- 4 その他 ご不明な点などがありましたら、下の担当までお問い合わせ願います。

学 校 名：苫小牧市立明野小学校
氏 名：田中 雅子（道小事務局幹事：対策部）
Eメール：akeno-es3@hokkaido.school.ed.jp
電 話：0144-57-5611